



ごあいさつ

会長 阿部 一郎

箕面市ハット市友好クラブ会長の阿部です。会員の皆さん、市民の皆さん、いつもありがとうございます。さて、来年の2025年は、箕面市とハット市が姉妹都市交流の締結（国際協力都市締結）をしてから30周年を迎える節目の年です。締結をした1995年には、関西で暮らす私たちには忘れることのできない阪神淡路大震災が起こっていました。箕面市も被災地になりましたが、お隣の兵庫県の各市町村の被害は甚大でした。私は当時箕面市で国際交流を担当する一職員でしたが、こんなときにニュージーランドに行って、姉妹都市交流の調印式をすることに戸惑いを感じていました。そこで当時の箕面市の橋本市長に自分の思いを伝えたところ、「こんなときだからこそ、箕面の子もたちが未来に希望を持てる姉妹都市交流を始めるときではないか」と諭されました。今まで誰にも言っていないエピソードですが、とても印象に残る言葉でした。



姉妹都市は、そもそも第二次世界大戦の教訓から、かつて敵国として戦った市民と市民が交流を深めることで異文化理解を図り、二度と戦争を起こさないことを目的として始められました。不戦の誓いこそ、姉妹都市交流の原点です。そして両国の子どもたちが姉妹都市を相互に訪問して交流を深め、やがて世界で活躍する人材に成長することこそ、めざすべき活動だと信じています。箕面市とハット市が姉妹都市交流提携30周年という節目の時だからこそ、また、世界が混迷と分断を深める時だからこそ、両市の関係者の皆さまが姉妹都市交流の原点に立ち戻って、交流プログラムの再構築を図られることを切にお願いするとともに、本団体も力をふり絞っていきたく考えています。皆さまのさらなるご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年度（令和6年度）総会を開催

6月2日（日）みのお市民活動センターにて総会を開催しました。

まず初めに、上島一彦 箕面市長、藤迫稔 教育長、神代繁近 箕面市ハット市友好議員連盟会長のご挨拶を賜り、2023年度（令和5年度）の事業報告、会計報告、2024年度（令和6年）の役員体制や事業計画など、全て承認され、新たに新年度のスタートを切りました。

昨年度の事業報告として、西南図書館を姉妹都市交流の拠点にする取り組み、姉妹都市青少年交流事業等の検討会で、多くの関連団体と顔の見える関係を構築できたことが報告されました。

新年度の取り組みとしては、引き続き西南地区を中心に若年層を対象とした国際化活動の企画、推進をおこなっていきます。

その他の新事業としては、P.2の『ハットクラブの新規事業』の記事をごらんください。

総会終了後は、意見交換会を行いました。クラブに対する思いや姉妹都市交流に対する思いを話す、良い機会となりました。

また、来年は国際協力都市提携30周年にあたるので、会員の皆さんが周年事業についても思いを馳せました。



新規行事・他団体との連携推進

六角 みよ子

ハットクラブは昨年度から、従来の年間行事をほぼ行ってきました。しかし会員の皆さんの参加が少なく、各行事担当者は参加者を増やすことに試行錯誤を重ねてきました。

そこで、2024年度から新たな発案として、ニュージーランド（以下NZと記す）のハット市だけに特化せず、国際交流に関わる他団体と合同での行事開催や、相互にイベント参加案内をすることの提案が出ました。

具体例としては、本クラブが箕面市内の国際交流グループ「チャーターボックス」と合同で、国際色豊かな**国際交流会**を6月に開催したと、「箕面船場まちづくり協議会」や「日本NZ協会（関西）」と相互にイベント参加推進を計らうようなことです。

箕面船場まちづくり協議会は、子どもや地域の人々と学生が参加するイベントの企画や、**国際交流の場づくり**を担っており、大阪大学やMAFGAなどと連携して活動を行っています。上述の国際交流会には、同協議会を介して大阪大学「日本語日本文化教育センター」の留学生の参加を得ました。今後の進展に期待するところです。

そして日本NZ協会（関西）は、NZ関係団体と連携して活動しています。日本とNZの交流や調査のための情報提供をしています。例会としては、NZ事情説明会やNZラム肉料理会、駐日NZ大使館見学会、クリスマス会等を行っています。相互に人数制限はありますが、**イベント案内を推進し合うこと**を目指しています。

会員の皆さんに喜んでいただけるようなイベント展開に向けて目下、他団体と友好的連携を進めています。

連携団体のこれまでの様子



ハットクラブは Hutt 市議会議員の Brady 氏と Waiahetu Marae からの女性たちを箕面大滝へ案内（2024年2月）

※この写真は、P.5の Brady さんからも寄せられています



箕面船場まちづくり協議会による「こども未来会議」（2024年3月）



箕面船場まちづくり協議会は、NHKの「ほっと関西」に出演（2023年5月）



箕面船場まちづくり協議会設置のイルミネーション（2021年12月）



日本NZ協会（関西）ローザンベリ多和田を見学（2023年11月）



日本NZ協会（関西）クリスマス例会（神戸倶楽部にて）（2023年12月）

試される姉妹都市の理念

佐藤 徹

現在の世界情勢を見ると、姉妹都市の理念などは絵空事のように見える。

ロシアのウクライナ侵攻やガザでのイスラエルとハマスとの戦闘は終わりが見えず、苛烈さは増すばかりだ。戦場で殺し合う兵士の姿や爆撃で死傷する市民の叫びが、テレビで生中継される。その惨状は目を覆うばかりだ。

確かに私たち日本人も同じ体験をした。先の大戦では、言語を絶する苦しみを味わい、300万人以上が戦死した。世界も同じだった。主要国を巻き込み、5年以上続いた戦いは、5000万人以上の戦死者を出したといわれる。その未曾有の惨禍があまりに甚大であったため、こうした悲劇を繰り返してはならないと国際連合が創設され、姉妹都市という理念もその流れの中で誕生した。

「戦争を始めるのは国家だが、市民同士が仲良くなれば戦争は防げるはずだ」

宗教や言語や生活習慣が異なっても、お互いに直接交流し、ホームステイなどを通じて相手の文化を深く理解する。こうした市民の草の根の交流は、時間はかかるが、世界の平和に貢献する。これが私の理解する姉妹都市交流の理念である。

しかし、現実には理想からほど遠く、かつ緊迫している。

ウクライナやガザでの泥沼の戦いに加え、中国や北朝鮮などは専制国家的言動を強めており、いま世界は第二次世界大戦以来最大の世界戦争の危機に直面していると言われる。特に国連の機能不全は深刻である。安全保障理事会では対立する常任理事国がお互いに拒否権を行使し、何一つ決議されない。その繰り返しである。

ただそうしたなかで、唯一の救いは、どの国も国連を脱退しようとはしない、という事実であろう。あきらめずにテーブルを囲んで話し合っていくしか道は無いと世界の人々は覚悟しているように見える。

姉妹都市交流も同じだろう。

市民同士の個人的信頼関係から出発するこの運動が、世界の平和というゴールを見るまでには気が遠くなるような時間が必要だろう。だからこそ、未来の可能性を信じて、今一歩一歩進むことが大事ではないだろうか。



国際協力都市提携30周年に向けて

箕面市ハット市友好議員連盟 会長 神代 繁近

平成7年（1995年）7月16日、箕面市とハット市は国際協力都市提携を結び、来年で提携30周年を迎えることとなります。国際協力都市のテーマは「市民が主役の国際交流」です。この間、多くの市民がお互いに両市を訪問し、さまざまな文化の違いを知り、理解するために交流を深め行動をとるようになりました。

特に印象に残っているのは、両市で開催された国際協力都市提携20周年の記念事業です。平成27年（2015年）1月31日、ハット市での20周年記念式典（Tomodachi Day）には、箕面市から22人の市民訪問団が参加。また、同年の10月4日には、本市において20周年記念式典ならびに20周年記念スペシャルイベント！ニュージーランドオータムフェア～We Love Hutt City！～が、ハット市より32人の市民訪問団をお迎えし盛大に開催されました。

30年間「市民が主役の国際交流」を進めてきた両市にとって、大きな財産となったのは「人財」です。人と人との交流が姉妹都市交流の中心となり、まちづくりの核となっていく予定です。今後も40周年、50周年と、両市の市民がお互いに心から理解し合える関係を構築するとともに、国際協力都市として少しでも世界平和に貢献できれば意義深い交流となることと確信しています。



国際協力都市提携30周年に向けて

前箕面市長 倉田哲郎

ハットクラブ20周年であり、また、箕面市ハット市国際協力都市提携20周年でもある2015年、ニュージーランド・ハット市を訪問したのは、季節の穏やかな1～2月にかけての一週間でした。2度目の訪問だったこともあり、レイ・ウォレス市長（当時）ご夫妻をはじめ多くの友人がおり、とても充実した楽しい時間を過ごしたことが忘れられません。

マオリ式の鼻をあわせるご挨拶で歓待いただき、また、Hutt Minoh House Friendship Trust開催の友好イベント「Tomodachi Day」には、箕面市ハット市友好クラブ、箕面市美術協会、箕面市茶華道文化連盟の皆さんと一緒に参加し、ハット市のみなさんの日本文化への熱い関心と好奇心の強さに圧倒されました。

学校見学に向ったトゥイ・グレン・スクールでは、子どもたちのたくさんの元気な笑顔に囲まれました。さすがはラグビーが国技の国、小さな小学校なのに広大なラグビー場を備えていた景色も印象に残っています。また、意見交換に向ったハット市役所で、実は、庁舎内随所にこっそりBBQセットが置いてあるのを発見したのは内緒です。穏やかに朗らかなお国柄を表しているようでした。

隙間の時間では、レイ・ウォレス市長ご夫妻と実物大のボードゲームに興じたり、お招きいただいたホームパーティでBBQとお酒を堪能したり、とても濃厚な交流の時間になりました。

オフ日にお隣のウェリントン観光に行った帰り、ペトローネ駅までは辿り着いたものの、休日ダイヤでバスがなく、連絡手段もわからず延々3キロ歩いた帰り道。「The First Garden City」の名に相応しく、お庭の花々がとても美しい住宅地で、ゆったりした暮らしぶりを垣間見つつ、そこで暮らす皆さんが親切に道を教えてくれたのは、いい思い出です。

季節も違う海の向こうの異世界。異なる価値観で暮らす人々。でも、どこか似た香りが漂い、友情と理解を深めることのできるニュージーランド・ハット市との交流は、私の人生のなかでも得難い経験です。間もなく30周年を迎えるこの交流と友情が、これからも何十年と続き、さらに深化していくことを願ってやみません。



My Visit to Minoh

Brady Dyer _City Wide Councilor, Hutt City

During my recent trip to Minoh, I had the honour of meeting with Mayor Kazuhiko Ueshima and Chairperson Shigechika Kamishiro at the Minoh City Council. We discussed our cities' upcoming 30th anniversary and explored potential projects to celebrate this milestone. Our conversations re/affirmed the strong bond between our sister cities and highlighted the shared anticipation for the Osaka World Expo '25.

I also had productive discussions with Trees Neal and Noriko Ueno from the Cultural and International Affairs Division, focusing on the funding of sister city events and the collaborative relationship between Minoh City Council and the Hutt Friendship Club. Our visit to Katsuo-ji Temple and the new developments in Minoh, including a new train station and university, provided insights into the city's cultural and infrastructural growth.

A memorable evening was spent with the Hutt Friendship Club, where I experienced warm hospitality and engaging performances. The Mayor's attendance and the heartfelt speeches underscored the importance of our relationship. Singing with Trees Neal was a delightful highlight.

The following day, the Waiwhetu Marae group joined us for a cultural exchange at Maple Hall. We participated in the Waterfall Walk, a serene experience that facilitated meaningful conversations and a rare sighting of monkeys at the temples.

Our meeting with the Minoh Association For Global Awareness (MAFGA) was particularly fruitful. We discussed various ideas for the 30th anniversary, including school and art exchanges, virtual celebrations, and the creation of a Hutt City Garden in Minoh. The concept of a blended Japanese Torii and Maori Waharoa symbolising our cultural fusion was especially inspiring.

Concluding my visit, I enjoyed karaoke with the Hutt Friendship Club, explored Minoh CBD, and visited the Minoh Brewery. The idea of a beer collaboration for the anniversary was well received. My trip ended with a heartfelt farewell from my host family and the Hutt Friendship Club members.

Overall, this trip significantly strengthened the bonds between our cities, and I am excited for the collaborative projects and cultural exchanges planned for the future.



My dear Kendo and people in Minoh

Sue Lytollis

Over Golden Week this year myself and Liz Dutton, both instructors of Yoshinkan (Hutt) Kendo Club, went to Kyoto to attempt 7th and 6th dan respectively. I, as a 6th dan, wanted to compete in the Butokoden Demonstration Matches in it's 120th year. As a young woman living in Kyoto I had visited this competition and admired the fights there. Forty years later my bucket list dream to be on the stage panned out. In between our gradings (sorry we did not pass) and the Kyoto Demonstration match, we had time to spend a day in Minoh City.

This was a grand reunion not only with Mayor Kazuhiko Ueshima and other very important officials, but also to catch up with friends from the Minoh-Hutt Friendship club. We enjoyed the excitement of talking about the upcoming 30th anniversary of Sister City relations with Minoh and what our prospective cities are planning.

After the meeting at the City Council building it was time, on a wet day, to make the most of Minoh so our lovely group went to the Minoh Beer Brewery which was also a 'bucket list' adventure. I particularly liked the use of the Saru in the designs, so a bit of merchandise was purchased in the spirit of contributing to the Minoh economy.

Then off we went for an afternoon in Osaka. It was great sharing memories with the friendship team and I thank you all very much for showing us parts of Osaka I had never visit, including the well worn Dotonburi entertainment area and various market streets.

No visit is complete without a lovely meal and (more beer) with the group before a trip back to Kyoto.

We hope that some of the Minoh-Hutt Friendship Group might find the time to visit Lower Hutt in 2025, to help us celebrate this momentous occasion and we promise to share some interesting craft beer with you all.

Thank you again for your hospitality and ongoing friendship.



2024（令和6）年度 事業計画

新年度役員

【行事】

- 6月・・・2024年度総会、意見交換会
- 7月・・・大阪大学夏まつり（中止）
- 10月・・・ALT、CIR歓迎会
NZワインの集い
NPOフェスタ
- 12月・・・キウイパーティー

【定例活動】

- 英会話サロン・・・休会
- 運営委員会・・・月例、年11回
- 会報・・・年2回発行
- 公報・・・ホームページ、Facebook等

【プロジェクト】

- ・西南図書館を姉妹都市交流の西部拠点とする取り組みを行う
- ・西南地区を中心に若年層を対象とした国際化活動の企画、推進

副会長を、新たに2名の方々をお願いし、5人体制で世代間の連携を深めます。

- | | |
|-----|---|
| 会 長 | 阿部 一郎 |
| 副会長 | 川島 一彦
六角 みよ子
窪 敏夫
平井 美矢子（新任）
山根 ひとみ（新任） |
| 会 計 | 東條 暁之 |
| 書 記 | 加藤 俊明 |
| 委 員 | 東 三貴子
野村 太持
佐野 智宏
門浦 智 |
| 監 事 | 片芝 賢二 |
| 顧 問 | 小枝 正幸
佐藤 徹 |

【英会話サロンの講師の皆さんへ感謝】

「英会話サロン」は昨年より休会しております。（本誌No.55で掲載報告）
今年度は、P.2新規事業のコラムでご紹介した他団体との連携も含め、新たな形での活動を模索中です。

サロン開催中は海外からの方々へ献身的なご協力を賜りました。
改めまして、これらの方々へ感謝の気持ちを捧げます。ありがとうございました。

Eikaiwa-Salon has been adjourned until the days we can restart it.
As for the Salon, we had had the heart-warming cooperation from many persons overseas.
We would like to express our sincere gratitude to those once again!

お願い：各行事や活動の詳細はEメールでご案内します。インターネット環境がない会員の方々へは、お手数ですが会長（Tel. 090-1244-8275）またはお知り合いに事前に電話等でご確認をお願いいたします。

箕面市長タイムズ（市の公式SNS）記事より



4月11日(木曜日) 在日ニュージーランド大使館を訪問し、箕面市と国際協力都市であるニュージーランド・ハット市との提携が来年30周年を迎えるにあたり、クーパー大使と意見交換を行いました。



5月1日(水曜日) ハット箕面友好ハウストラスト理事でありNZ剣道連盟理事長でもあるスー ライトリスさんとハット市剣道クラブ「養心館」副会長のリズ ダットンさんが来日され、来年国際協力都市提携30周年を迎えるにあたり意見交換を行いました。



Brady さんの箕面訪問については、P.5の Brady さんの寄稿文冒頭をお読みください。



編集後記

今年はホテルも梅雨も早く、本格的な夏もうそこまで来ています。
箕面市内は国内外からの観光客が増えてきて、賑わいが戻りつつあります。ハットクラブでも姉妹都市交流や子どもたちのための事業など、会員の皆さまとイベントを盛り上げていきたいと思っております。

箕面市ハット市友好クラブHP
<http://minoh-hutt.com/>

発行日：2024年7月
編集担当：加藤俊明、山根ひとみ